

No. 97

3月号

3月中旬
20時頃の空



今年は3月20日が春分の日です。これまで星空を賑やかにしていた木星や冬の星々も夜が更けないうちに西の空に傾いていくのが分かります。一方で、東の空にはしし座など春の星座たちが続々と上ってきていて、星空も季節の変わり目を迎えています。まばゆい冬の星々を見送り、春の星座をじっくり探しながら、思い出づくりや新しい生活を思い描いてみるのも良いのではないのでしょうか。

ふたご座の「兄弟星」 ポルックスとカストル

3月中旬の20時ごろ、頭上を見上げると目にとまるのが、ふたご座の1等星のポルックスと2等星のカストルです。

夜空に浮かぶこの二つの星は和名でも「兄弟星」の名前がつけられ、セットで親しまれています。

ポルックスとカストルは、ふたご座のモデルとなったギリシア神話に登場する兄弟の名前です。

とても仲の良い兄弟ではあったものの、兄のカストルは人間の子なのに対し、弟のポルックスは大神ゼウスの子です。そのためポルックスだけが不死であり、カストルが亡くなった際に兄の死を悲しんだポルックスの願いにより、二人は一緒に天に上げられました。

実際の星を見ても、カストルはポルックスの輝きに迫るような明るさで、等級は2等星のなかでも比較的明るい1.6等です。一見すると似た明るさの二星ですが、カストルに比べ、ポルックスは橙色の輝きをしているため、見分けがつきやすいでしょう。

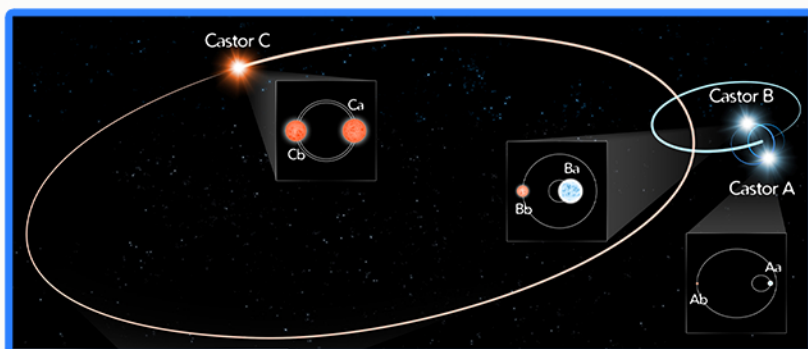
また二つの星には距離にも違いがあり、ポルックスは太陽系からおよそ34光年離れているのに対し、カストルはおよそ52光年彼方にあります。

そしてカストルは大小六つの恒星が複雑にお互いの周りを回っている六重連星という珍しい姿をしていることが分かっています。



画像: 国立天文台

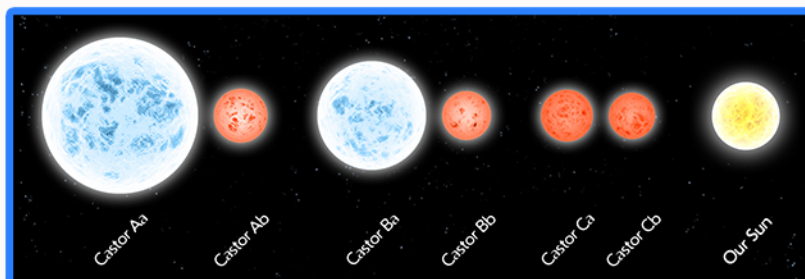
望遠鏡で見たポルックスとカストル



画像: NASA/JPL

六重連星のカストルの姿(イメージ)

カストルの三つの連星A, B, Cがそれぞれが連星をもち、「六つ子」の姿をとっている



画像: NASA/JPL

カストルの各星の大きさ比較(イメージ)

※右端は太陽